

自民党

11月
定例会
府議会報告 vol.29



平成23年度京都府予算編成に関する
要望書を山田知事に提出

決算特別委員会
総括質疑での発言



府民の安心・安全の確保を目指して 治水対策と地震防災対策を問う!

- 未収債権対策について 本府の未収債権は、約108億円にものぼり、その回収は喫緊の課題である。未収債権対策委員会が取り組む課題と方針について。
- 淀川水系の治水対策について 多発するゲリラ豪雨等により水害リスクが増大している。安心・安全のまちづくりを進めるため、市町村との連携をより強化する必要がある。現況と今後の対策について。
- 地震防災対策について (1)公立小中学校の耐震化率の現況と今後の見通しはどうか。(2)文化財保護対策の進捗状況と今後の見通しはどうか。



安田 守
(向日市)

「府営水道料金」の 思い切った価格改定を求める!

- 府営水道について 府営水道経営懇談会の提言よりも、さらにもう一段踏み込んだ価格改定を求める。
- 府立高校の入試制度について 入試制度をわかりやすくするとともに、受験生が希望する高校に進学できるように、京都市・乙訓地域を1通常選、単独選抜にすべきである。また普通しき設置されていない府立高校に特色のある学科の新設を!
- 薬物乱用防止対策について 大学生や高校生、青少年等に対して、より一層、効果的な啓発・教育を実施すること、また薬物乱用者の再乱用を防ぐ対策が重要である。
- 府道の整備について 地域住民の悲願である府道西京高槻線(通称:物集女街道)の早期整備を!



荒巻 隆三
(東山区)

地方自治の発展に団体自治と 住民自治のバランスが不可欠。 住民の顔が見え声を聞く原点をこの先も。

- 関西広域連合について 国の権限移譲は財源も人員もきちんとセッティングで受け入れられるよう又、大が小を呑み込むことが無きよう山田知事には連合内でリーダーシップを発揮して頂きたい。
- 商店街の振興について 今熊野商店街の買い物支援の様に地域コミュニティの課題を商業の考え方や手法によって解決するといった有為な取組みの支援や推進を。
- 京都ブランド商品のマーケット拡大の更なる強化を。
- 祇園地域の風俗環境浄化対策について 規制のがれの風俗案内所の出現や違法風俗店のアンダラ化に対策を。
- 交通問題について 東山地区的歩道や駐停車問題に対する策を。四条川端歩車分離信号機の因果関係の解明も求む。

11月定例会での質問項目の一部抜粋です。※京都府議会のHP (<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html>) で録画中継をご覧ることができます。



厳しい雇用情勢の中、若年者 特に高校・大学新卒者の就職支援を 強化し、内定率向上に取り組むべき。

- 雇用対策について 高校・大学新卒者の内定率が低迷している。就職支援を充実し、内定率向上に努めるべき。
- 子ども手当の地方負担について 国は子ども手当の財源として扶養控除を廃止し、それによる地方の自主財源である住民税の増収分を、子ども手当の財源に充當しようとしている。この地方負担には断固反対すべき。
- 地域力再生支援について 住民自治組織・NPO・大学・企業など社会貢献活動を積極的に行う組織や個人が、連携・協働できるように府がコーディネーターの役割を果たすべき。
- 教員免許更新制を維持すべき。



島田 正則
(木津川市・相楽郡)

「けいはんな学研都市 国際戦略総合特区」 提案のねらいは。

- 「総合特区」の取組として、研究開発拠点と研究者の受入体制と整備を、また相楽東部地域を「学研奥座敷」と位置づけ。 ●TPPに対する知事の考えは、何よりも大きな影響を受ける農業に対しては、国の農業振興策を提示すべきだ。 ●農林水産物のブランド対策は、「ブランド認証事業」を平成元年からスタート農林水産物の販売を拡大し京野菜等の知名度浸透に努力は大きな評価であるが、今回策定の「ほんまもん京ブランド推進戦略プラン」は。 ●小規模事業者への支援は、商工会・会議所が地域の産業支援や活性化に向け中心的な役割を。 ●子育て支援は、休日保育、夜間保育、病児病後児保育、事業所内保育などニーズに答える整備が必要。



二ノ湯 しんじ
(右京区)

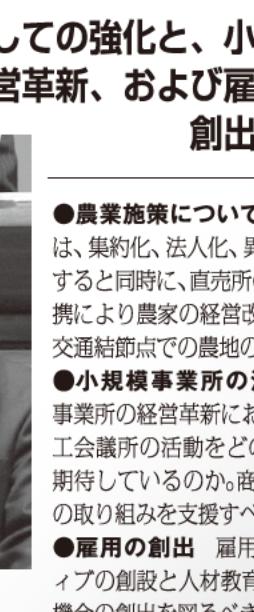
市町村合併、関西広域連合の設立等、 時代とともに地方行政が大きく変わる今、 府市のあり方を抜本的に見直すべきだ!

- 府政の最重要課題である京都市との連携の悪さ、二重行政をどう克服するか。 1.市との関係を考える時、令和市や府県が永続することが前提なのか、あるいは大幅な制度改正(府市の再編など)もあり得るとの前提なのか? 2.市が府に要望する財政支援に際しては、市にも行政改革の努力を求めるべきである。 3.「国際センター」や「男女共同参画センター」など、市にある府立・市立の類似施設の一本化や、企画から立案に至る産業政策の組織の一本化を図り、施策の整合性と府市双方の経費削減を目指すべきである。 ※他に、児童虐待対策の充実について、木材の地盤地消の推進における府市バラバラの政策の一本化や森林・環境税についても質問しました。



厳しい時代にあっても 未来に向かって夢を育み、希望を与える 施策充実について問う。

- 府のスポーツ施設のありかたについて 文化とともに、勇気や感動を与え、子どもたちに夢や希望を与えるスポーツ施設の整備・充実は?
- 家庭について 人と人とのつながりや家庭の価値や機能、役割がおざなりにされ社会にひずみが生じているが、その認識と対策及びあるべき家庭教育について?
- 農地の保全対策について 農業人口の減少や農業者の高齢化、担い手不足、鳥獣害被害の増加等による耕作放棄地が拡大しているがその対策について?



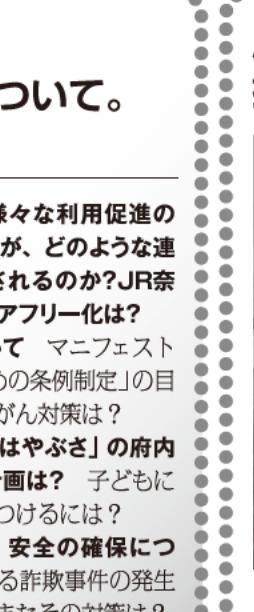
中川 貴由

(八幡市)

JR奈良線複線化 整備事業について。



奥田 敏晴
(城陽市)



産業振興と一体化した雇用政策を! 持続可能な就業対策、雇用対策は産業が 発展してこそ成り立つ

- 雇用を生み出す新たな仕組みとして、雇用が確保できる産業を育てるためのプラットフォームづくりが重要であり、京都としての成長戦略や起業家精神を持った人材育成が必要。 ●雇用のための雇用政策ではなく、持続ある社会の発展、産業振興と一体化した雇用政策を進めるべき。 ●生活保護受給者の就労意欲を喚起する福祉制度の改善が必要。 ●雇用基金事業の中でも社会的な意義が高いモデル的事業に対する府独自の継続的支援が必要。

皆様の声を府政に届けるため、25名全力で頑張っています!!
私たちに、ご意見・ご要望をお聞かせください。

自民党京都府議会議員団

☎075-414-5555 〒602-8570 京都市上京区下立堀通新町西入ル坂ノ内町 京都府議会棟内
<http://www.jimin-kyotofukai.com> Eメール office@jimin-kyotofukai.com FAX 075-414-5563



山科区
すがや 寛志



下京区
小巻 實司



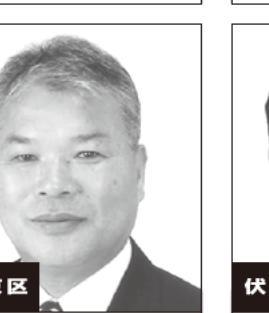
南区
秋田 公司



右京区
近藤 永太郎



右京区
中川 貴由



右京区
奥田 敏晴



北区
林田 ひろし



左京区
石田 宗久



中京区
植田 喜裕



東山区
荒巻 隆三



宇治市
村田 正治



宇治市
多賀 久雄



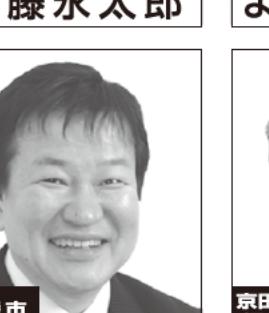
城陽市
奥田 敏晴



向日市
中川 貴由



長岡京市
坪内 正一



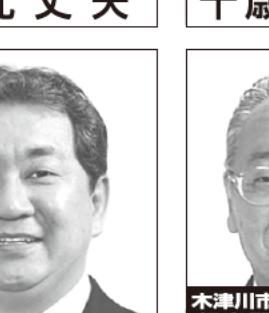
八幡市
中川 貴由



京田辺市
尾形 賢



京丹波市
巽 昭



南丹市
片山 誠治



木津川市
島田 正則